

令和6年度千葉県輸出スタートアップ事業者向けサポート事業 募集要項

1 目的

千葉県産農林水産物の輸出を拡大させるためには、これまで本格的に輸出に取り組んだことがない事業者にも積極的に輸出に取り組んでもらうことが必要です。

一方で、実際に輸出を行うには、海外バイヤー等のニーズの把握や、商品情報の提供、輸送手配、検疫や通関対応などが求められるほか、輸出先の流通・商習慣の知識なども必要となり、輸出に取り組むためには一定のハードルがあります。

そこで、千葉県では、輸出に興味を持っているがまだ輸出に取り組んでいない又は取り組み始めたばかりの事業者を対象として、輸出に関する様々な知識を習得してもらう「輸出スタートアップ研修会」及び、研修会に参加した事業者の中から選考して伴走型輸出支援を実施します。

2 実施内容

(1) 輸出スタートアップ研修会

	日 時	研修内容
第1回	8月5日(月) 13:00~16:00	輸出に取り組む意義と海外市場の現況と未来予測 講師：アクセンチュア株式会社 小栗 史也氏
第2回	8月23日(金) 13:00~16:00	輸出に向けた商品を考える 講師：株式会社大吉農園 大吉 枝美氏
第3回	9月6日(金) 13:00~16:00	商談成約に必須の物流対策 講師：日本通運株式会社 佐原 潤氏
第4回	9月13日(金) 13:00~16:00	海外営業のコツ（ケーススタディ：シンガポール） 講師：株式会社WeAgri 矢部 翔一氏
第5回	9月20日(金) 13:00~16:00	海外販路を確立するためにやらなければならないこと （ケーススタディ：台湾） 講師：商田實業有限公司 林 璋煒氏

【研修会場】○第1回・第3回・第5回 ちばセミナールーム 千葉市中央区弁天1-6-9 GPビル2F

○第2回・第4回 BASE千葉会議室 千葉市中央区弁天1-2-4 弁天松井ビル4F

※研修はオンライン配信（録画）での受講も可能です。

(2) 伴走型輸出支援

ア 輸出診断

伴走支援を行うにあたり、事業者のターゲット国など輸出取組の方向性(意向)を把握する必要があることから、輸出診断シートを利用して輸出診断を実施します。

イ 商談ツールの指導（商談シート作成）

事業者の「伝えたい情報」とバイヤーの「知りたい情報」を1枚にまとめた商談シートを実際に作成してもらい、アドバイスを行います。

ウ 海外バイヤーとの個別オンライン商談

1事業者5回程度を目安にオンライン形式で事業者がターゲットとする国のバイヤー

と商談の機会を設けます。

エ オンライン商談のサポート

事業者及びバイヤーに URL をメールにて配信します。商談当日は、モデレーターが付き添い商談をサポートします。

オ 商談後のフォローアップサポート

オンラインミーティングを月 1～2 回実施してフォローアップを行います。商談が成立した際は、売買契約等の作成支援や貿易実務上必要となる書類の作成を支援します。

3 募集内容

(1) 募集定員

①フェーズ 1：輸出スタートアップ研修会 30 名

②フェーズ 2：伴走型輸出支援 10 社（研修会参加者から選考）

※応募者多数の場合は、輸出品目の将来性や輸出実績、輸出に対する積極性などを総合的に考慮し、選考を行います。

(2) 応募資格

①フェーズ 1：輸出スタートアップ研修会

○本研修に参加できること（オンライン配信（録画）での受講も可能）。

○県産農林水産物及び加工食品の輸出に取り組み始めた又は今後取り組む予定である者であること。

※加工食品とは、県内加工食品業者等の県内製造・加工、又は県産農林水産物を主原料とした食品。

○県が事業効果を把握するために実施するアンケート調査等に協力できること。

②フェーズ 2：伴走型輸出支援

○フェーズ 1 の要件に加えて、輸出スタートアップ研修会に受講した事業者であること。

○輸出にあたり、バイヤーが求める情報や書類を提出できる者であること。

(3) 参加費

無料

(4) 申込方法

○参加の申込は、別紙「フェーズ 1 参加申込書」に必要事項を記入の上、以下の申込先までメールで提出してください。

○申込先/問合せ先

千葉県農林水産部販売輸出戦略課

メール 3086hanbai@mz.pref.chiba.lg.jp

○申込期限 令和 6 年 (2024年) 7 月 31 日 (水) 17:00 必着

※申込後にメールで受領の返信を行います。連絡がない場合、申込先まで問い合わせてください。

※申込をされた事業者・団体には、令和 6 年 (2024年) 8 月 1 日 (木) 17:00 までに個別に参加の可否を連絡します。